

事業実績書

団体名	白石地区地域づくり協議会
-----	--------------

1 地域づくりの活動方針(テーマ)

みんなでつくる住みよいまち・白石

2 今年度、重点的に取り組んだ視点(事業)

①	視点	日常的に運動に親しみ、健康と食に関心が高く、心身ともに健康な地域住民を増加させる。		
	事業名	チャレンジ健康づくり	決算額	93,783円
②	視点	明治維新に係る歴史に対する理解と関心を高め、もって郷土愛意を育み、地域の連帯感や絆を深める。		
	事業名	明治維新150年記念事業	決算額	487,157円
③	視点	子どもからお年寄りまで家族ぐるみで参加してもらい、地域住民同士の繋がりを深める。		
	事業名	ふるさとまつり参加促進事業	決算額	195,730円

3 今年度の重点的視点(事業)に対する評価

検証(成果、来年度以降への改善点等)	自己評価
①今年度も、社会体育部会と地域福祉部会との協働で事業運営を行い、安定した事業展開が図られた。 参加者目標50人に対し、38人の受講者があり、落伍者もなく全員に修了証を授与することができた。 今後についても、白石地区全体の地域課題としては特に中年層(40～60歳)の運動不足が課題となっており「すっきりボディー」「活動量計」をキーワードに中年層をターゲットとした事業を展開するとともに、受講者の増大を図るべく本事業の周知に努める。	○
②講演会開催(4回)、広報誌へのコラム掲載や幕末維新史跡マップを作成し、全戸配布をすると共に幕末維新史跡マップを活用した探訪ウォーキングを3回実施するなど、明治維新策源地山口市において活躍した人物、史跡等を詳細に周知することができたことから、本事業が地域住民同士の連帯感や絆を醸成する一助となった。 今後については、事業名を「明治維新150年記念」から「白石歴史探訪の会」に改称し、講演会開催や広報誌へのコラム掲載に加えて、幕末維新史跡マップ活用による史跡探訪も開催したい。 なお、これまで広報誌へ掲載したコラム(全58回)を冊子化する予定である。 また、広報誌において「皇政復古70周年記念」をテーマにコラム連載する。	○
③【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】 御神輿の担ぎ手等参加者を対象にサラシの巻き方教室、終了後には直会を開催し、絆を深めた。 【山口セタちゃんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー43本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち184名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。 今後については、より多くの地域住民(とりわけ子育て世代と子どもたち)が参加してもらえるような、より楽しい企画を検討し、実施する。	○

4 総括

交付金の活用によって、専門部会、実行委員会等を中心とした地域課題の解決に向けた取り組みが進んだ。
今後についても、第2次地域づくり計画に基づいて、地域課題を解決するための手段としての事業を企画し(P)、地域住民が主体となって遂行し(D)、事業結果(効果)を検証し(S)、改善する仕組みを構築する(A)ために、地区住民同士が自由に話し合える場づくりに重点的に取り組む。

5 事業内容

(1) 協議会運営

事業費	5, 396, 804円
事務局の 運営体制	(事務員等の雇用人数) 事務局長:1名 事務職員:2名 (運営費の主な内容) 事務局人件費、事務費 (成果・評価) 適宜、会計管理システムの見直し(バージョンアップ)を行い、当該取扱マニュアル書を随時改良することにより、会計業務の適正かつ迅速な会計業務を確立した。 (今後に向けて) ムダ・ムリ・ムラを無くし、効率の上がる適切かつ円滑な事務運営に努める。

(2) 地域振興

事業名	地域づくり活動参加促進
事業費	178, 680円
事業概要	(実施内容) 地域課題の解決に向けて、専門部会運営等参加者を増やす。 (実施時期) 通年 (参加人数) 114人 (成果) 各専門部会等の運営に関わる人たちの参加意識の向上が図れた。 (評価) 今年度における専門部会の出席率が90%となり、昨年(82%)と比較して8%増加した。また、参加人数も昨年と比較して12. 8%(13人)増加した。 (今後に向けて) 地域の将来像や地域課題解決のための事業を地域住民が共有し、地域活動が積極的に展開されるよう、地域づくり活動に参加する地域住民、とりわけ地縁者の増加促進を図る。 また、地域づくりに関わる啓発研修会等の開催を企画する。

事業名	広報事業
事業費	1, 029, 780円
事業概要	(実施内容) 広報誌配布、公式ウェブサイト運営 (実施時期) 通年 (参加人数) 3人 (成果) 広報誌全戸配布11回、ウェブサイト更新11回。 (評価) 広報誌を毎月発行し、HPを適宜更新するなど、各事業の開催案内・結果報告等掲載し、活動状況の周知が図れた。今年度は6月号をA3からA4に変更し発行、7月号を7月15日に配布し、8月号を休刊として経費削減した。 (今後に向けて) 次年度も、引き続き広報誌の毎月全戸配布、ホームページの適宜更新を行うとともに、4月1日からフェイスブックを新たに開設し、情報発信の周知拡大および広報委員会創設を目指す。

事業名	「やまぐちえき」応援イベント
事業費	162,500円
事業概要	(実施内容) SLの乗客や山口駅の利用者を対象に、地域住民が協力して心を込めた「おもてなし」イベントを実施。 今年度はJR山口駅の環境美化活動、市内観光ウォーキング活動、駅舎内待合室でのコンサートやよさこい等の演舞を開催した。 また、官民一体となった「アフターデスティネーションキャンペーン」を6回実施した。 (実施時期) 平成30年5月、9月、11月、12月2回、平成31年3月 (参加人数) 約80～100人(1開催当り) (成果) D、Cイベント等において、多数の地域住民の協力で盛大なイベントとなり、県内外からの多くのSL利用者等に対する、おもてなし活動ができた。 (評価) 地域住民同士のコミュニケーションの場となった。SL到着までの時間を利用して、駅待合室において、地域の音楽・舞踊団体等が活動を披露するなど、地域で活動する団体等の成果を発表する場となると共に、山口市の玄関口であるJR山口駅を盛り上げることができた。 (今後に向けて) 環境美化活動、観光ボランティア、駅舎内コンサート等を継続して行いたい。 5・8・9・10・11・12月の期間に「SLやまぐち号」おもてなしイベントを6回程度行くと共に、参加者や山口駅乗降者に向け、ミニカフェを開催する。駅コンサートでは、他地区で活動している団体にも参加してもらおう。さらに地域住民や参加者同士のコミュニケーションの場としたい。6・10月の観光ボランティアについては、白石歴史探訪の会とコラボして行いたい。

事業名	白石フェスティバル開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	(実施内容) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加による親睦イベントとして開催。 (実施時期) 平成30年11月18日 (参加人数) 約4,000人 (成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦、白石地域交流センターで活動されている団体の紹介、及び地域団体の連携強化が図られた。 また、多くの地区住民が運営スタッフとして参加し、住民主体のイベント運営、地域活動参加のきっかけづくりとなった。小・中学生や高校生、大学生もスタッフとして参加され、子どもや学生が地域社会とふれあう機会となった。 (評価) 今年は天候が非常に良く、客足も売り上げも伸び、大盛況であった。地域団体のほか、警察署によるパトカーや白バイの試乗、スポーツ少年団の競技体験ブース、野菜販売などもあり子どもからお年寄りまで楽しんでもらえるイベントとすることができた。 (今後に向けて) 来年度も開催日時を西門前商店街・道場門前商店街のえびす祭りにあわせて開催(11/17)し、お互いの祭りの相乗効果が出るよう工夫して行きたい。 地域住民だけでなく白石地域の小・中・高校生にも活躍の場を提供し、地域全体で一体感を持ってフェスティバルを盛り上げるように取り組みたい。また、センター駐車場に人の流れが集中しているため、店舗の配置や内容を見直していく。

事業名	白石地区町内親睦大運動会開催支援(プロジェクト事業)
事業費	300,000円
事業概要	(実施内容) 白石小学校グラウンド (実施時期) 平成30年5月20日 (参加人数) 1,500人 (成果) 子どもからお年寄りまで多くの地区住民の参加により、地区住民の親睦及び体力づくりを推進することができた。 (評価) 種目の見直しを行い、1種目を廃止し新たに2種目を追加した。どちらもオープン競技で、町内単位で参加していない方でも楽しめる内容にできた。 (今後に向けて) 各種目の内容説明等の場が事前にあれば、より参加しやすい運動会になったと思う。競技種目、町内対抗に参加できない地区住民の参加方法についてさらに検討し、参加者増加に向け取り組む。具体的には、地域広報誌「しらいし」での告知方法や、プログラム内容の見直しを行う。また、来年度以降も継続して、ブロック制の導入について協議していきたい。

事業名	町内会親睦活動支援
事業費	90,000円
事業概要	(実施内容) ①福部童子祭②西惣小さな夏まつり③ヴェルデ白石納涼夏祭り (実施時期) 平成30年7月、8月 (参加人数) 約1,000人 (成果) 子どもからお年寄りまでの世代交流ができた。 参加団体は3団体(町内会)となった。 (評価) 年当初の計画通り、6町内会における親睦会開催を支援する予定であったが、雨天又は雨天予報により今道大附、荒高の2町内は中止、中清水町内会は今年度は申請しないとのことで3町内会を支援した。 (今後に向けて) 今後については高齢化、世帯の減少等で単独開催が困難な町内会について、現行開催町内会が近隣町内会との共催を働きかけ、交流の場としたい。

事業名	ふるさとまつり参加促進事業
事業費	195,730円
事業概要	(実施内容) 【ほたるまつり】 実行委員会メンバー他有志で赤煉瓦前広場において、無料休憩所の設営・運営および交通警備を行った。 【祇園祭】 御神輿の参加者を対象にサランの巻き方教室、終了後には直会を開催した。 【山口セタちょうちんまつり】 一の坂川沿いにちょうちんツリー45本にちょうちん860張の飾りつけ・点灯を行った。また、ほたる広場周辺のちょうちんツリー8本には、保護者や子供たち184名がそれぞれの願いを短冊に書いて飾り付けた。 (実施時期) 平成30年6月2日、7月20・27日、8月6・7日 (参加人数) 544人(スタッフ延人数) (成果) 【ほたるまつり】 参加者36人。白石カフェは早い時間から常に満席状態であった。 【祇園祭】 参加者129人(御神輿担ぎ手105人、直会93人) 【山口セタちょうちんまつり】 参加者269人(ちょうちんツリー69人、願事短冊184人) (評価) 昨年と比較して参加者が85人増加した。(願事短冊の飾りつけは61名減) (今後に向けて) 前年度と同様に町内会(地縁団体)からの参加者が少ないことから、町内会連合会を通して単位町内会長へ参加を町内会総会において早期に積極的に要請していく。 【ほたる祭り】定期利用団体の演奏、演舞等の検討を要する。 【祇園祭り】子供神輿、裸坊の警備と練歩きの実施を検討する。 【ちょうちん祭り】昨年度に比べ「願事短冊の飾りつけ」の参加者が少なかったため、子ども会会長を通じて積極的に参加を要請する。ミニちょうちんツリー設置点灯の作業が初めての人には補助員1名配置する。参加者募集は早めに行う。(5月頃)

(3) 地域福祉

事業名	人権啓発活動推進
事業費	50,000円
事業概要	(実施内容) 竹下和男氏を講師に迎え、「お弁当の日」をテーマに白石中学校全校生徒、地域住民を対象に人権学習講演会を開催。 (実施時期) 平成30年11月17日 (参加人数) 約400人 (成果) 白石中学校の全校生徒に加え、地域住民が参加し、人権の啓発が図られた。 (評価) 前年度と比較して地域住民の参加者が減少し、周知方法等の課題が残った。 (今後に向けて) 参加呼びかけ等、事前の広報活動を積極的に展開し、地域住民の参加を働きかけ参加者増を図る。実施時期、講演内容等早めに決定し、参加者増に向けて再度協議していく必要がある。

事業名	ノルディックウォーキング講習会
事業費	22,800円
事業概要	(実施内容) ノルディックウォーキングの普及やウォーキングマップしらいしの活用を推進するため専門の講師を招きノルディックウォーキングの講習会やまち歩きを実施。 (実施時期) 平成30年11月10日 (参加人数) 26人 (成果) 昨年までは市政が行うチャレンジデーに併せて開催していたが、今年度は市がチャレンジデーに参加しないことからチャレンジ健康づくり事業と開催日を併せて開催した。その結果、チャレンジ健康づくりの参加者と一般応募による参加者を合わせ昨年を上回る参加があった。 (評価) チャレンジ健康づくりのスタッフが運営に参加したことにより、ウォーキング時の随行など運営も円滑に行われた。 (今後に向けて) 昨年までは「チャレンジデー」に併せて参加者を募っていたが、チャレンジデー終了により今年度は「健康づくり」「ウォーキング」をテーマとして、チャレンジ健康づくり事業と協働することで成果を得られた。そのことから、今後もこの方向性で充実させていくことを検討する。コースについてはウォーキングマップの活用を検討する。

事業名	チャレンジ健康づくり
事業費	93,783円
事業概要	(実施内容) 参加者に対して活動量計を貸出し、運動に関するプログラムを月1回のペースで提供。同時に活動量計のチェックを実施し、個人にあった健康的な身体活動量を体感してもらう事業を展開する。 (実施時期) 平成30年9月～平成31年2月 (参加人数) 38人 (成果) 参加者(登録者数)38名で目標に届かなかった。 社会体育部会と地域福祉部会との合同で事業運営を試み、安定した事業展開が図られた。 (評価) 活動終了時のアンケートでは、ほぼ全員が本事業の内容や取り組みについて満足していることから、来期も内容は今年度と同様とする。 (今後に向けて) 本活動の認知度を上げて参加者を増やしていく為の活動や告知回数を増やしていく。具体的には、①地区運動会(5月開催)で本活動を紹介する時間(昼休憩等)をとり、その中で模擬体験を行ってもらう。併せて場内アナウンスやちらし等で告知する。②本活動開始(9月)前にプレイベント(ウォーキング講座、ストレッチ講座等)を開催し、その中で本活動を予告・紹介し、参加を呼び掛けていく。③従来、実質の活動開始が2回目から、講座開始も3回目からとなり間延び感が否めない為、初回からの活動開始、2回目からの講座開始として、やる気感を阻害せず、最後まで参加してもらえるように内容を変更する。

事業名	健康食のおススメ
事業費	53,010円
事業概要	(実施内容) 家族が喜ぶカルシウム料理教室、男性料理教室の開催、「チャレンジ健康づくり」の講座参加者を対象に、健康食の料理教室開催と試食の提供。減塩食レシピを広報誌へ4回掲載する。 (実施時期) 平成30年4月、9月、11月、平成31年1月 (参加人数) 40人 (成果) 今年度は男性料理教室の参加者が昨年を大きく上回る17名となり、意識の高さが伺えた。託児を利用した料理教室にも参加者がおり、若い世代のお母さんにも参加してもらえた。 (評価) 料理教室開催、広報誌へのレシピ掲載により、適正な塩分量の料理や美味しくカルシウムを摂取できる料理を提案し、地区住民の健康増進に役立つことができた。 (今後に向けて) 来年度も、減塩料理だけではなく、生涯骨太を目指したカルシウムクッキングに力を入れる。 広報誌に健康食レシピを掲載紹介し、健康に役立つ料理を提案したい。 料理教室の参加者を増加させるため、周知に努める。 また、子育て世代の方にも安心して料理教室に参加してもらえるよう、来年度も託児所を開設し、PR方法を検討する。 より多くの地域住民の「食」に対する意識を高めるため、「チャレンジ健康づくり実行委員会」と協働で、料理教室の開催を検討したい。

事業名	グラウンドゴルフ大会開催事業
事業費	28,544円
事業概要	(実施内容) グラウンドゴルフ大会を開催。 (実施時期) 平成30年6月、10月、11月 (参加人数) 54人 (成果) 昨年度は春季、秋季2回の開催であったが、今年度は地域づくり会長杯を新設した。準備、運営はグラウンドゴルフ実行委員会が中心となって実施した。 (評価) 今年度は実行委員会の立ち上げにより運営態勢が確立した。リピーターの方も多くグラウンドゴルフに対する興味が高まりつつある。 定期練習会(毎週水曜日)も行い、市民体育大会への参加意識の高揚に繋がった。 (今後に向けて) これまでの実績から、新たな参加者があればリピーターとなってもらえる可能性が高く、またそこから定期練習への参加、さらに実行委員会への参加も考えられることから引き続き周知に努めていく。

事業名	むかし遊び
事業費	4,013円
事業概要	(実施内容) 白石小学校と連携して、新入生(1年生)を対象として実施。 (実施時期) 12月12日(火) (参加人数) 41人 (成果) 今年度は民生・児童委員の協力で41名の参加者がおり、昨年度と比較して7名増加した。高齢者と1年生の楽しく充実した交流が図れた。 (評価) 福祉部会員、民生児童委員、近隣住民の協力があり、各遊びの責任者となってもらいスムーズに運営できた。また他地区から1名の参加もあった。 (今後に向けて) 町内会に回覧をして募集をしたが、なかなか返事が来ず、成果が得られないため、募集は声掛けがいい。今年度は民生委員がたくさん集めてくれた。種目によってはスタッフが足りなかったので増員が必要である。

(4)安全・安心

事業名	危険防止看板設置
事業費	0円
事業概要	(実施内容) — (実施時期) — (参加人数) — (成果)該当事案がなかった。 (評価) — (今後に向けて) 子どもの交通事故等の危険箇所注意を呼び掛ける看板やステッカーなどの表示設置が不十分な箇所があるため充実させたい。

事業名	反射鏡設置等事業
事業費	0円
事業概要	(実施内容) — (実施時期) — (参加人数) — (成果)該当事案がなかった。 (評価)— (今後に向けて) 地域内の交通安全を守るために、次年度以降も危険個所に反射鏡等の設置をしていく。

事業名	自主防災モデル事業
事業費	53,124円
事業概要	(実施内容) 自主防災勉強会、防災イベント(交流センター共催)等開催。 新道・上清水・中讃井・荒高町内会、西門前・新橋町内会が合同で防災実働訓練を実施。 山口県自主防災アドバイザー養成研修を受講、資格試験受験、防災士資格取得。 (実施時期) 平成30年9月～平成31年2月 (参加人数) 防災実働訓練参加者 約400世帯 (成果) 今年度新たに2名が防災士資格取得者となり、白石地区の防災士資格取得者は21名となった。 平成31年2月3日(日)に、新道、上清水、中讃井、西門前、新橋、荒高町内会で合同の防災実働訓練を行ったことで、防災意識がさらに高まり災害への備えとなった。この防災実働訓練には、たいへん多くの地区住民(400世帯)が参加した。安否確認のための目印として、「黄色のタスキ(旗)」を全戸に配布したことにより、住民同士の連帯感が深まり、防災意識の高揚が図れた。 (評価) 5町内会が、自主防災訓練に参加した。 (今後に向けて) 自主防災訓練に参加した町内会はもとより、その他の町内会を対象として、地区防災士による防災講座を開催する。 また、実行委員会を毎月1回(第一火曜日)定例開催する。

事業名	夏休み防災訓練キャンプ
事業費	30, 806円
事業概要	(実施内容) 消防分団が講師となつての水消火器による消火訓練。着衣水泳体験(赤十字山口県支部講師による指導)。体育館での宿泊体験(寝床づくり、ラジオ体操、負傷者救出訓練など)。給水車による給水(上下水道局)、火起こし体験、非常食体験。 (実施時期) 平成30年7月28日、29日を予定。 (参加人数) (成果) (評価) 今年の夏の異常気象による気温の上昇が著しかったことにより、今年の開催が見送られた。(環境省より、暑さ指数が31を越える際に児童を外に出してはいけないなどの通達があったため) (今後に向けて) 一方策として熱中症等安全を担保できる内容を検討する。

事業名	安全パトロール事業
事業費	30, 358円
事業概要	(実施内容) 児童の登下校の安全見守り、挨拶運動 ボランティアへの児童の下校時刻予定表や情報、連絡網等の送付。 (実施時期) 通年 (参加人数) 39人 (成果) 児童の通学時における安全確保を目的に学校とボランティアの連携が図られた。 (評価) パトロール要員が昨年と比較して10名増加し、児童の事件事故の被害事案はなかった。 (今後に向けて) パトロール要員の募集方法を再度検討し、誰でも気軽に参加できるような仕組みをつくり、参加人員を拡大していきたい。

(5)環境づくり

事業名	五十鈴川を守る会
事業費	94, 963円
事業概要	(実施内容) 五十鈴川河川の美化作業(草刈等) 河川長 約1,000m (実施時期) 平成30年9月2日(日) (参加人数) 230 名 (成果) 事前の準備が周到でタイムスケジュール等ほぼ計画通り実施された。また、参加者同士の交流が図れた。 (評価) 中学生ボランティアの参加が多く、かつ参加人数が増えて昨年より時間短縮ができ、草刈り部隊が増加したことから、清掃エリアが拡大した。 (今後に向けて) 近隣参加町内会の参加者の増大を図り、上流地域の清掃拡大を目指す。また、一の坂川のような、ほたるが飛び交う川の実現を目指して調査研究をする。

(6) 地域個性創出

事業名	お宝写真展
事業費	58,320円
事業概要	(実施内容) 白石の自慢できる風景の写真を募集し、大いちょうバザール・白石フェスティバルにおいて写真展を開催した。 (実施時期) 平成30年7月～11月 (参加人数) 20人 (成果) 昨年に引き続き、大いちょうバザールや白石フェスティバルにおいて写真展を開催した。 (評価) スマホ撮影、ネットでの募集が広まったと思う。レベルの高い作品が多く集まった。ただし、児童の作品が少なかった。 (今後に向けて) もっと事前のPRが必要。SNSを使った募集も取り入れる。児童の募集を増やすための写真教室を開催してみる。作品とは異なるが、白石の歴史がわかる写真(昔撮った写真など)を集めてみても面白いと思った。
事業名	明治維新150周年記念事業
事業費	487,157円
事業概要	(実施内容) 講演会、広報誌およびHPにコラム掲載、幕末維新史跡マップの作成。 (実施時期) 平成30年4月～平成31年3月 (参加人数) 263人(延べ人数) (成果) 講演会・広報誌へのコラム掲載、幕末維新史跡マップ作成により幕末・明治維新の山口市で行動・活躍した人物や史跡を詳しく周知することができた。 (評価) 講演会・広報誌へのコラム掲載は好評であった。とりわけ、幕末維新史跡マップの作成を行い、全戸配布することにより、本事業の足跡を残すことができた。 (今後に向けて) 来年度も、講演会開催やコラム掲載については引き続き実施し、幕末維新史跡マップを活用した維新探訪ウォーキングも実施する。また、広報誌掲載コラム(全58回)を編集し冊子化する予定である。

(注) 事業概要の欄には、事業の目的、事業内容、実施時期、参加予定者数等の項目で概要を記載してください。

平成30年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項 目	金 額
地域づくり交付金	8,547,111
山口線 S L 運行対策協議会補助金	70,000
てくてくウォーク参加者負担金	41,000
預金利息	35
雇用保険料事業主負担分戻入	2,226
合 計	8,660,372

支出の部

(単位：円)

項 目		金 額	摘 要
協議会運営		5,396,804	事務局長給与、事務局員給与、事務費
事業費	地域振興分野	2,256,690	地域づくり活動参加促進、広報活動、「やまぐちえき」応援イベント 白石地区町内親睦大運動会開催支援、白石フェスティバル開催支援 町内会親睦活動支援、ふるさとまつり参加促進
	地域福祉分野	252,150	人権啓発活動推進、ノルディックウォーキング講習会、チャレンジ健康づくり 健康食のおススメ、グラウンドゴルフ大会、むかし遊び
	安心・安全分野	114,288	危険防止看板設置等、反射鏡設置等、自主防災組織モデル 夏休み防災訓練キャンプ実施、安全パトロール
	環境づくり分野	94,963	五十鈴川を守る会
	地域個性創出分野	545,477	お宝写真展、明治維新150年記念
		3,263,568	
合 計		8,660,372	